

機械器具 42 医療用剥離子  
一般医療機器 歯科用起子及び剥離子(70683000)

## K2 パーティカルサイナスアプローチ

### \*\*【形状・構造及び原理等】

#### \*\* 1.形状

36-501



36-502



36-503



36-504



36-505



36-506



36-383



36-384



### 【使用上の注意】

1. 本品の使用前に、必ずサイズを確認すること。
2. 使用前に必ず洗浄・滅菌をすること。
3. 折損、曲がり等の原因になり得るので使用時に必要以上の力(応力)を加えないこと。
4. 使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないよう、直ちに洗浄液等に浸漬すること。
5. 塩素系及びヨウ素系の消毒剤は、金属腐食を起こす恐れがあるので使用しないこと。

### 【保守・点検に係る事項】

1. 使用後はできるだけ早く血液、体液、組織等の汚物を除去し、洗浄・消毒すること。
2. 汚染除去に用いる洗浄剤は、洗浄方法に適したものの選択し、適正な濃度で使用する。
3. 超音波洗浄器等の洗浄装置で洗浄するときには、器具同士が接触して損傷することがないように注意すること。
4. 洗浄剤の残留がないよう十分にすすぎをすること。仕上げのすすぎには、出来るだけ精製水を用いること。
5. 洗浄後は、腐食防止のために、直ちに乾燥させること。
6. 使用(滅菌)前に汚れ、傷、曲がり等に異常がないか点検をすること。
7. 強アルカリ/強酸性洗浄剤・消毒剤は、器具を腐食させる恐れがあるので使用しないこと。
8. 洗浄の際、クレンザー(磨き粉)や金属たわしを使用しないこと。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 :株式会社 インブラテックス  
ホームページ: <http://www.itx.co.jp>  
TEL:03-5850-8555 FAX:03-5850-8505  
製造業者 :株式会社 YDM 埼玉事業部

### \*\* 2.構成

| カタログ番号 | カタログ名               | 一般的名称(JMDNコード)       | 最大直径(mm) | 先端直径(mm) | 先端寸法(mm) |
|--------|---------------------|----------------------|----------|----------|----------|
| 36-501 | K2 サイナスインスツルメント#1 C | 歯科用起子及び剥離子(70683000) | —        | 3.0/4.0  | —        |
| 36-502 | K2 サイナスインスツルメント#2 C |                      | —        | —        | 1.9×4.0  |
| 36-503 | K2 サイナスインスツルメント#3 C |                      | —        | —        | 1.9×4.0  |
| 36-504 | K2 サイナスインスツルメント#4 C |                      | —        | —        | 1.9×6.0  |
| 36-505 | K2 サイナスインスツルメント#5 C |                      | —        | —        | 1.9×7.0  |
| 36-506 | K2 サイナスインスツルメント#6 C |                      | —        | —        | 1.9×6.0  |
| 36-383 | K2サイナスドリル φ3        | 手術用ドリルビット(32390000)  | 3.2      | 3.0      | —        |
| 36-384 | K2サイナスドリル φ4        |                      | 4.2      | 4.0      | —        |

### \*3.組成

ステンレス鋼/シリコンゴム

### 【使用目的又は効果】

本品は、口腔内手術で粘膜組織の剥離に用いるシステムである。

### 【使用方法等】

1. 本品は、未滅菌品であるので使用前に必ず洗浄し、医療機関内で担保された滅菌条件にて高圧蒸気滅菌を行うこと。  
推奨滅菌条件: 121℃ 20分間  
134℃ 5分間
2. サイナスドリルを用いて上顎洞底粘膜下まで骨を穿孔する。
3. サイナスインスツルメントを用いて、粘膜組織の剥離を行う。
4. 使用後は、速やかに血液、体液等を水洗し、その後、オートクレーブ等にて滅菌して保管する。

取扱説明書を必ずご参照ください。